

やせ型若年女性の疾患発症リスクの検討

令和元年に行われた国民健康・栄養調査によると、肥満度 (BMI) が 18.5 未満の「やせ (低体重)」の割合は、20 歳代女性では全体の 20.7%を占めており、健康日本 21 の目標値である 20%を上回る結果となった。働く女性の健康増進について社会の関心が高まっている一方で、現状では若年女性に着目した研究は少ない。そのような中、昨年世界で初めて、低体重女性群の耐糖能異常 (IGT) の有病率が標準体重女性群に比べて顕著に高いことが明らかとなり、「やせ」が若年女性の糖尿病発症リスクに関連する可能性が示唆された。この研究は、対象集団が小規模である等の課題が残ったものの、やせ型若年女性に対して生活習慣病への予防的取り組みの必要性を提起するものとなった。

そこで本研究では、やせ型若年女性の疾患発症リスクに焦点を当てる。若年女性を BMI により幾つかのカテゴリーに分類し、カテゴリーごとの検査結果の傾向や他項目との相関を検討する。さらに、質問票から収集した生活習慣との関連についても考察する。

使用するデータは公共財団法人パブリックヘルスリサーチセンターが保有する健康診断データであるが、入手時期は未定である。本抄読会では女性のやせの現状や、やせが危険因子となる可能性がある疾患について述べた後に、上記の先行研究を紹介する。

【参考文献】

1. Sato M, Tamura Y, Nakagata T, et al. Prevalence and Features of Impaired Glucose Tolerance in Young Underweight Japanese Women. *The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism*. 2021;106: e2053-2062.
2. 佐藤船斗 (2021). 若年低体重女性における糖代謝異常の有病割合と発症率の推定
3. Tatsumi Y, Ohno Y, Morimoto A, et al. U-shaped relationship between body mass index and incidence of diabetes. *Diabetol Int*. 2012; 3:92-98.
4. Sairenchi T, Iso H, Irie F, et al. Underweight as a predictor of diabetes in older adults: a large cohort study. *Diabetes Care*. 2008; 31:583-584